

# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校校長  
酢谷昌義

自主的な「委員会活動」

## 毎日を大切に過ごす…

今朝は全校集会を行いました。全校集会は毎月第2・第4日曜日の朝行うことにしています。今朝は「一日一日を大切に過ごしてほしい」と思い、次のような内容の話をしました。

明日で2月も終わり、すぐに3月がやってきます。3月は「別れ」の季節とも言われます。学校では卒業式があり、卒業以外にもいろいろな別れがあります。日本に帰国する人もいるでしょう。そういう友達との別れや出会いが多いのが、日本人学校の特色でもあります。

皆さんは「一期一会」という言葉を聞いたことがありますか。これは茶道の相手をもてなす時の心からできた言葉です。毎日学校では、友達と楽しく過ごしていると思いますが、今のままずっと一緒に過ごすことができるわけではありません。別れの時期や次に会えるかどうかも分からず、場合によっては二度と会えな



音楽発表の練習風景です

いかかもしれません。だからこそ毎日を大切に過ごしてほしいと思います。友達との別れはつらくても、より多くの別れや出会いを経験した人の方が、きっと心の優しい人になれるのだと思います。日本人学校はこの「出会い」と「別れ」が多い学校です。特にこれからの季節、皆さんはそのことを忘れず、友達との時間も大切に一日一日をしっかりと頑張ってお過ごしてください。

一日一日を大切に過ごすということは、どこで生活して

いても、同じように大事にしなければならないことだと思います。まして海外での生活ということを考えると、一層重要なことなのではないでしょうか。日本では経験できないことを日々積み重ねていけるわけですから、何となく過ごすのはとてももったいないことだと思います。

3月はそれぞれの学年の、この1年間のまとめをする大切なときです。だからこそ、毎日を大切にしようと思う気持ちを、誰もに持って生活してほしいと思います。

## 和太鼓(太鼓・尺八)の素晴らしさ

先日お知らせした「Japan Music Week」の和太鼓公演を聴いて、和楽器から流れる音というのは、本当に良いものだと改めて感じました。太鼓の音は、本当に体の中に響いてくるようでしたし、1本の尺八であんなに繊細で力強い演奏ができるとは思っていませんでした。尺八には前面に4つ背面に1つしか穴がありません。その穴を順番に開けていくだけで、吹き込む息や穴のふさぎ方を調整することでいろいろな音が出せるということを初めて知りました。あれほど古典的な楽器で、現代的なリズムの演奏ができることにも驚きを感じました。

太鼓や笛というのは、やはり日本人が聞き慣れた音なので、聞いているだけで何となくわくわくしてきます。子ども達にも、日本文化の一つでもある和楽器にぜひ触れさせたいと思いました。



# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校  
校長  
酢谷昌義



真剣に取り組む「反復横跳び」

## 第2回「スポーツ測定」

今週の体育の時間は、今年度2回目となる「スポーツ測定」を行っています。通常日本の学校では、毎年1回第1学期の間に行われています。年間を通じて暑いこの国では、十分な運動機会を確保することが難しいので、子ども達の体力の実態を把握しておくことは非常に重要なことだと考え、昨年から年2回のスポーツ測定を行っています。

体力・運動能力調査の歴史は古く、東京オリンピック後に始まりました。途中一部測定種目の変更がありましたが、現在まで継続して行われています。その過程で、昭和60年頃までは体力の増加傾向が見られていましたが、その後特に子ども達の体力は全体的に低下傾向に転じ、最近下げ止まりの傾向は見られるものの、長期に低迷しているということが問題となり、様々な議論を呼び起こしました。

体育や学校で指導する主要な目的は、体力向上だけではなく、生涯にわたって健やか



「長座体前屈」の測定風景

で豊かな生活を送る上で、運動やスポーツを生活の中で楽しむための習慣や方法を、学校にいるときに獲得させることです。しかしこういう国では、あまりの自然条件の厳しさから、体力向上そのものを目的とすることも必要だと考えています。

平成20年度に全国の小学校5年生と中学校2年生の全員が調査・報告の対象になったのは、子ども達の体力の状況に深刻な問題があることを、広く子ども自身と保護者にも知らせる必要と、その効果があるからだと言われています。

幸いドーハ日本人学校の子

ども達は、体を動かすことが大好きです。休み時間になるとサッカー・ドッジボール・鬼ごっこ等々、思いきり遊んでいます。遊びの種類が限られているとは言え、児童生徒数の増加とともに、その点でも徐々に改善されてきています。

子ども達自身が自分の体のことに興味を持ち、積極的に体を動かしたり健康管理に気をつけたりできるようになれば、これはとても素晴らしいことです。そして運動やスポーツに親しむことが習慣として身についていけば、健やかで豊かな生活につながっていきけるのだと思います。

### シャープから「空気清浄機」の寄贈を受けました

シャープ株式会社から、同社の社会貢献事業の一環として「空気清浄機(イオン発生機)」を寄贈していただきました。すでに近隣のドバイ日本人学校・アブダビ日本人学校にも寄贈されているとのことでした。今回寄贈された空気清浄機は、様々な浮遊ウイルスやカビなどを分解し、空気を浄化する機能があるのだそうです。

シャープの担当者の方は、「海外での生活では、日本以上にインフルエンザや風邪は気になるものです。日頃お世話になっている在留邦人の皆様に快適な空気を創造するとともに、インフルエンザ等予防の一助になればと考え、無償提供させていただきたい。」と話しておられました。

こうした環境面でもさらに充実してきました。感謝の気持ち忘れず、大切に利用させていただきたいと思います。



# 校長室便り

(文責)

ドーハ  
日本人学校

校長  
酢谷昌義



今朝の朝読書は畳が大人気

## 素敵なプレゼント「畳」

図書室のドアを開けると、真新しい畳からイ草の香りが漂ってきます。中部電力会長の三田様が畳を寄贈してくださり、図書室の一角に畳のコーナーができました。

実は以前に私が勤めていた学校で、図書室に畳のコーナーをつくったらとても好評だったこと、図書室を学校で一番居心地の良い部屋にしたいこと等を三田会長にお話したことがありました。それでは子ども達のために、畳をプレゼントしようということになり、昨日の放課後贈呈式を行いました

三田会長がドーハ日本人学校を訪問されるのは、今回で4回目になります。毎回子ど

も達にプレゼントを届けてくださっています。これまでも、本当にたくさんの図書を寄贈してくださっています。

三田会長は大変優しくお話も上手で、子ども達はいつも以上に真剣に三田会長のお話に耳を傾けていました。その中で「この国で一生懸命生活する。いろいろなことに一生懸命頑張っていれば、大人になっても、私のような年になっても良い思い出として心に残るも



のです。」とおっしゃいました。これは私にとっても大変心にしみるお話でした。

贈呈式後、子ども達はお礼の気持ちを込めて「よさこいソーラン」を披露しました。最後の記念撮影もみんな笑顔があふれていました。多忙な日程の中、いつも子ども達のことを考えてくださりありがとうございます。三田様のご厚意に心から感謝し、大切に使用させていただきます。



三月の詩

全学年

【二度とない人生だから】

坂村真民

二度とない人生だから  
一輪の花にも  
無限の愛を  
そそいでゆこう

一羽の鳥の声にも  
無心の耳を  
かたむけてゆこう

二度とない人生だから  
一匹のおろぎでも  
ふみころさないように  
こころしてゆこう  
どんなにか  
よろこぶことだろう

二度とない人生だから  
一ぺんでも多く  
便りをしよう  
返事は必ず  
書くことにしよう

二度とない人生だから  
まず一番身近な者たちに  
できるだけのことをしよう  
貧しいけれど  
こころ豊かに接してゆこう

二度とない人生だから  
つゆくさのつゆにも  
めぐりあいのふしぎを思い  
足をとどめて  
みつめてゆこう

二度とない人生だから  
のぼる日 しずむ日  
まるい月 かけてゆく月  
四季それぞれの  
星々の光にふれて  
わがこころを  
あらいきよめてゆこう